

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9  
TEL: 03-3259-3111(代表)  
www.ms-ins.com

2022年10月7日

## 月への航行・着陸を補償する世界初「月保険」を ispace と開発

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、株式会社 ispace（代表取締役：袴田 武史）と、今後拡大が予想される月面ビジネスにおいて発生するリスクを補償するため、打ち上げから月面着陸までを補償する世界初の「月保険」を共同開発したことをお知らせします。

本保険は、最短で2022年11月<sup>\*1</sup>に打ち上げを予定している ispace のミッション 1<sup>\*2</sup>で同社に生じる損害を補償します。今後、三井住友海上は、月面開発を企図している事業者へ本保険を提供していきます。

### 1. 取組の背景

アルテミス計画に代表されるように、宇宙開発は月に注目が集まっており、その後、火星や地球から200万km以上離れる深宇宙へと人類の活動領域は拡大していくことが想定されます。

そのような中、当社は2019年2月に民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」のコーポレートパートナーに就任<sup>\*3</sup>し、まだまだ人類にとって未知の領域である月面や月までの航路といった新たな挑戦に対して全力で立ち向かえるよう「月保険」開発に関する協業を発表しました。

### 2. 月保険の概要

当社は ispace との協業を通じて、月への航路や着陸の際に起こり得るリスクなどを分析し、ロケット打ち上げから月遷移軌道上でランダー（月着陸船）が切り離され、月までの長期間におよぶ航行期間や月面着陸時に発生する損害について協議を重ねてきました。

そしてこの度、新たな宇宙保険のラインナップの1つとして、打ち上げから月面着陸までをシームレスに補償する「月保険」を共同開発しました。

地上では損害箇所を目視することができますが、宇宙および月面では損害を目視することはできません。そこで月保険は、ランダー（月着陸船）から発信される様々なデータを地上で受信し、ランダー（月着陸船）の状態を確認します。データが受信できない場合やデータに異常値がみられた場合など、予定していた月面航行や着陸が達成できない場合などに保険金をお支払いします。

### 3. 今後の取組

三井住友海上は、inspace を含む月面開発を企図している事業者へ月保険を提供し、月面市場のビジネス創出を後押しします。また、宇宙旅行や民間宇宙ステーション（ポスト ISS）のような、新たな宇宙領域で生じるリスクを軽減するソリューションを提供することで、宇宙産業のさらなる発展に貢献していきます。



民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」のランダー（月着陸船）のイメージ

■ **民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」** (<http://ispace-inc.com/hakuto-r>)

HAKUTO-R は、ispace が行う民間月面探査プログラムです。独自のランダー（月着陸船）とローバー（月面探査車）を開発して、月面着陸と月面探査の2回のミッションを行う予定です。SpaceX の Falcon 9 を使用し、それぞれ 2022 年<sup>※1</sup>に月面着陸ミッション、そして 2024 年<sup>※1</sup>に月面探査ミッションの打ち上げを行う予定です。このプログラムは、月面データの取得サービスと高頻度の地球―月輸送サービス構築に向けた技術検証を行います。

■ **民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」ミッション1の進捗**

ミッション1の打ち上げ時期は、現時点において、最短で 2022 年 11 月<sup>※1</sup>を予定しています。ミッション1で使用予定のランダー（月着陸船）のフライトモデルは、最終的な機能試験を行い、打ち上げ予定地であるフロリダへ輸送を行う準備を進めています。

■ **株式会社 ispace 袴田武史 Founder, Representative Director & CEO のコメント**

「産業が発展するうえで、保険は必要不可欠な要素です。月・地球間のエコシステム実現の旗振り役である ispace としては、世界初の月保険を三井住友海上様と共同開発させていただき大変光栄に思います。この月保険により、様々な事業者が今後月面開発に参加し、繰り返し月に行くことで新たな産業が創出されることになるでしょう。」

<会社概要>

■ **三井住友海上火災保険株式会社** (<https://www.ms-ins.com/>)

三井住友海上火災保険は、2001 年 10 月に、三井海上火災保険と住友海上火災保険の合併により誕生。2008 年 4 月には、グループ全体より高度な事業多角化を目的として、持株会社体制に移行。2010 年 4 月には、三井住友海上グループ、あいおい損害保険、ニッセイ同和損害保険が経営統合し、「MS & AD インシュアランス グループ」が発足。自動車、火災、傷害などの保険のほか、人工衛星打ち上げなどの際に加入する宇宙保険も手がける。

【宇宙保険特設コンテンツ】



■ **株式会社 ispace** (<http://ispace-inc.com/jpn>)

「Expand our planet. Expand our future. ～人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ～」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。日本、ルクセンブルク、アメリカの 3 拠点で活動し、200 名以上のスタッフが在籍。月への高頻度かつ低コストの輸送サービスを提供することを目的とした小型のランダー（月着陸船）と、月探査用のローバー（月面探査車）を開発。民間企業が月でビジネスを行うためのゲートウェイとなることを目指し、月市場への参入をサポートするための月データビジネスコンセプトの立ち上げも行っている。

※1：2022 年 10 月時点の想定

※2：ispace が SpaceX の Falcon9 を使って打ち上げ、独自開発したランダー（月着陸船）によって実施する、同社初の月面着陸ミッション

※3：[三井住友海上が民間月面探査プログラム HAKUTO-R のコーポレートパートナーに参加](#) (2019 年 2 月 22 日リリース)

以 上